

12月1日

テーマ：「私たちがまだ罪人であったとき」

せいしよかしよ てがみ しょう せつ
聖書箇所：ローマ人への手紙5章8節

◆今日のみことば

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

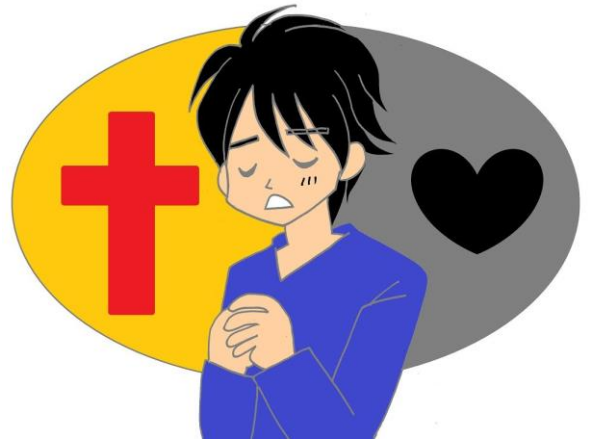
ローマ人への手紙5章8節

◆メッセージ

あなたの両親のことを考えてみてください。もし、あなたが両親の言うことを聞けなかったり、わがママを言ったり、兄弟げんかをしたり、友だちと悪いことをして遊んだりしたら、あなたの両親は怒りますか。怒ると思います。でも、どんなに怒っても、ある言葉を言えるならゆるしてくれるのではないのでしょうか。神さまはそのための素敵な言葉を与えてくださっています。それは「ごめんなさい」です。とっても素敵でとっても大事な言葉です。あなたの両親はあなたのことを愛しているので、心から「ごめんなさい」とあやまればゆるしてくれることでしょう。お父さんも、お母さんも、あなたのことをゆるしたいと思っ

今日のみことばを読むと、神さまはあなたの両親よりも、もっと大きな愛であなたを愛して下さっていることがわかります。それは、イエスさまはあなたの罪をゆるすために2000年も前に十字架にかかってく下さったことです。つまり、あなたが「ごめんなさい」をするより、ずっとずっとずっと前に、イエスさまはあなたの代わりに十字架にかかって死んで、あなたの罪をゆるして下さったのです。神さまはあなたのことが大好きなので、ひとりの子であるイエスさまをあなたの代わりに十字架につけてくださいました。イエスさまもあなたのことが大好きなので、あなたの代わりに十字架にかかってく下さったのです。

神さまは、イエスさまの十字架を用意して、ゆるしたいと待っていてくださいます。神さまとイエスさまのゆるしは、あなたが「ごめんなさい」をするより先に与えられているのです。これが神さまとイエスさまの愛なのです。その愛に心から感謝をして「ごめんなさい」をしていくのが私たちなのです。



◆お祈り

「神さま、私たちがごめんなさいをする前に、イエスさまが十字架で私たちの罪をゆるして下さったことを感謝します。」

(千種キリスト教会牧師 畑田祐二)